

特定小電力中継装置

IC-RP4150W

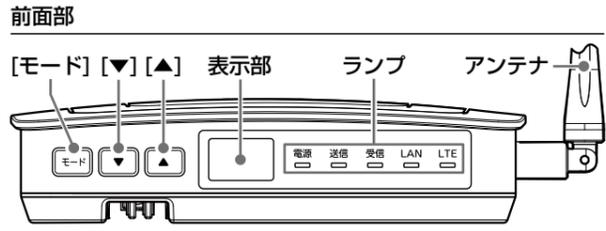
LTE/LAN接続対応

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 本製品は、LTE回線や有線LANを経由して本製品同士が接続、VE-PG4(弊社製)と接続して本製品以外の弊社製機器にも中継できる特定小電力中継装置です。
 本書では、基本的な接続や操作方法などを説明しています。
 本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

必要なものを確認する

- | | |
|--|---|
| 付属品について | ご用意いただくもの |
| <input type="checkbox"/> ACアダプター 1
<input type="checkbox"/> タッピングネジ(A0 4×16) ... 2
<input type="checkbox"/> ご注意と保守について | <input type="checkbox"/> 工具(ドライバー)
<input type="checkbox"/> 設定用パソコン
<input type="checkbox"/> LANケーブル
(スリムブーツタイプ) |
| <input type="checkbox"/> クッションシート 1
<input type="checkbox"/> マグネット 4
<input type="checkbox"/> 接続ガイド(本書) | <input type="checkbox"/> 壁面取付プレート 1
<input type="checkbox"/> ネジ(M3×6) 4
<input type="checkbox"/> 保証書 |

各部の名称と機能



【モード】キー
 設定項目と設定値の表示、および設定モードに切り替えるキーです。

【▲】/【▼】キー
 設定項目の切り替え、および設定値を変更するキーです。

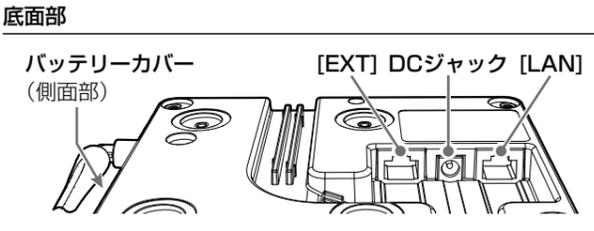
表示部
 設定モードの設定項目と設定内容を表示します。

ランプ
 各ランプの表示と動作の状態は、下表で説明しています。

ランプ	表示状態	動作状態
電源	消灯	電源OFF
	白 点灯	起動中(電源供給直後、および再起動操作時)
	青 点灯	電源ON(ACアダプター)
	紫 点灯	電源ON(PoE)
送信	赤 点灯	送信中
	緑 点灯	受信済
LAN	消灯	リンク未確立
	緑 点灯	リンク確立中(10BASE-T/100BASE-TX)
LTE	消灯	未設定
	緑 点灯	圏外、LTEネットワーク接続中
	点滅	LTEネットワーク接続完了、データ通信中

バッテリーカバー
 バッテリーパック(別売品)やSIMカードの挿入口、RESET(再起動)ボタンを保護するカバーです。

ご注意
 バッテリーパックから受電時は、本製品1台での中継動作に切り替わります。LTE回線やLANIによる接続機能を使用した中継通話はできません。



【EXT】ポート
 VE-PG4連携モードで使用するとき、OPC-2346(別売品)でVE-PG4(弊社製)と接続するポートです。

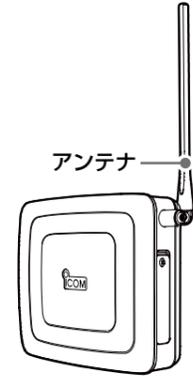
DCジャック
 ACアダプター(付属品)を接続します。
 ※PoEから受電する場合は、ACアダプターを接続する必要はありません。

【LAN】ポート
 HUBなどのネットワーク機器と接続します。
 PoEから受電する場合は、SA-5(別売品)、またはIEEE802.3at対応のHUB(市販品)と接続してください。

ご注意
 【LAN】ポートは、HUBなどに搭載のリピーター機能に対応していません。LTE回線やLANIによる接続機能で使用するときは、HUBが必要です。

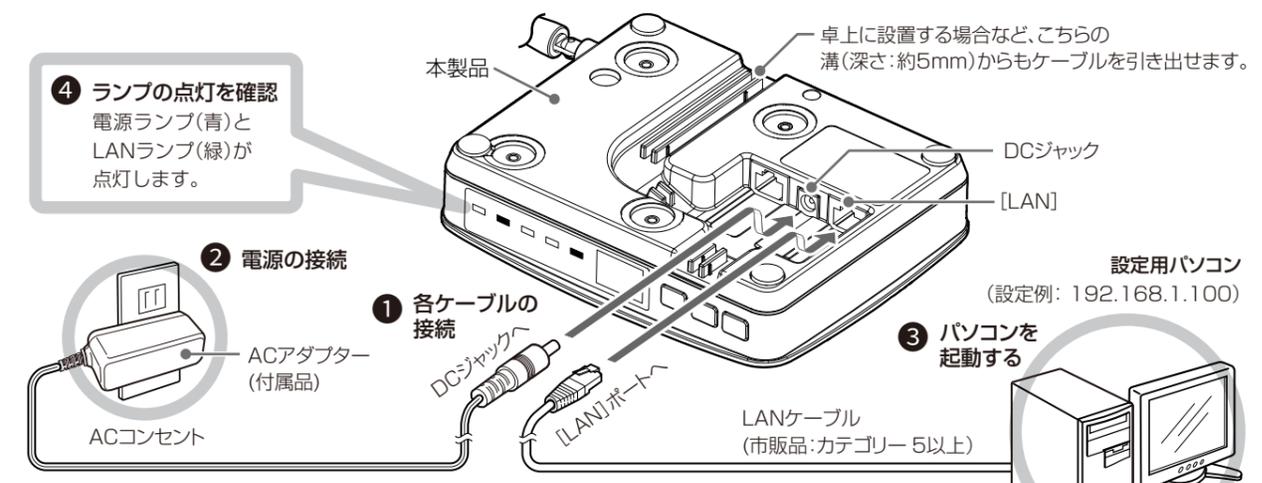
■ アンテナについて
 電波を発射、または受信する部分です。本製品のアンテナは、まっすぐにした状態から0度～90度の範囲で折り曲げて使用できます。また、折り曲げた状態で、回転できます。※通話音声にノイズが入るときは、アンテナの向き、または設置場所を変えてください。

ご注意
 アンテナは、電波法により取りはずしできない構造になっています。改造して使用すると、電波法違反になります。



接続して電源を入れる

次の手順(①～④)で、各機器を本製品に接続して、ランプの点灯を確認します。
 ※出荷時や設定を初期値に戻した状態でネットワークに接続するときは、本製品を既存のネットワークから切りはなしてください



設定用パソコンのIPアドレス
 出荷時、本製品のIPアドレスは、「192.168.1.1」に設定されています。DHCPサーバー機能が搭載されていないので、本製品の設定に使用するパソコンには、あらかじめ、本製品(192.168.1.1)と同じセグメントで、本製品と異なるIPアドレス(例:192.168.1.100)を設定してください。
 ※IPアドレスの設定について詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

出荷時のおもな設定値

本製品の設定モード、またはWEB設定画面から設定の確認や変更ができます。
 ※下表で★印を付けた設定名称は、本製品の設定モードからでも確認、変更ができます。

メニュー	設定項目	設定名称	設定値	
設定	機器設定項目	チャンネル設定	チャンネル番号★	CH1
		動作設定	グループ★	OFF
一般設定項目	機器動作モード	送信出力★	送信出力★	HIGH
		機器動作モード	機器動作モード	連結中継なし(半複信のみ)
ネットワーク設定	自機ネットワーク設定	IPアドレス	IPアドレス	192.168.1.1
		サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0
		デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
		本体パスワード	本体パスワード	admin

設定モードから設定を変更するには

設定を確認するには
 【モード】を短く押します。
 ・下表の上から順に、設定名称と設定値が表示されます。

機器動作モードの設定が「VE-PG4使用(単信動作)」以外の場合

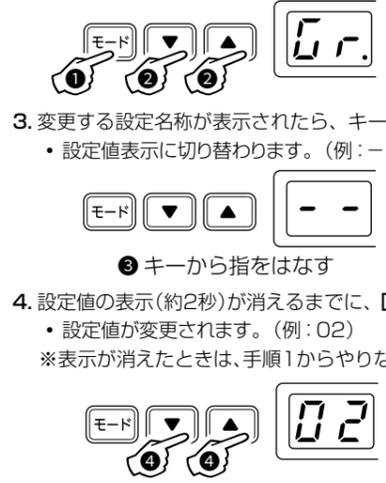
設定名称	表示	選択肢	設定値
通話(中継)チャンネル	CH	業務 : 01～18 レジャー : 19～27	01
グループ	Gr	--(OFF)、01～38(CTCSS)	--
ハンガアップタイム	HA	0(OFF)、1、3、5(秒)	0
スケルチレベル	SL	-(0)、1、2、3	-
アッテネーターレベル	AT	0、1、2、3	0
送信出力	Pa	10: 10mW、01*: 1mW ★01CH～18CH設定時のみ	10

機器動作モードの設定が「VE-PG4使用(単信動作)」の場合

設定名称	表示	選択肢	設定値
通話(単信)チャンネル	CH	01～20	01
グループ	Gr	--(OFF)、01～38(CTCSS)、01～83(CDCSS)	--
スケルチレベル	SL	-(0)、1、2、3	-
秘話	SR	on、oF	oF
コンパンド	Ca	on、oF	oF

設定を変更するには

- 【モード】(①)を長く(約2秒)押しつづけます。
 ・設定名称が表示されたら、【モード】(①)を押したままで、【▲】/【▼】(②)を押します。
 ・設定名称が切り替わります。(例:グループ)
- 変更する設定名称が表示されたら、キーから指をはなします。
 ・設定値表示に切り替わります。(例: --(OFF))
- キーから指をはなす
- 設定値の表示(約2秒)が消えるまでに、【▲】/【▼】(④)を押します。
 ・設定値が変更されます。(例: 02)
 ※表示が消えたときは、手順1からやりなおしてください。



WEB設定画面から設定を変更するには

設定画面にアクセスするには

本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

- 1 WWWブラウザを起動し、WWWブラウザのアドレスバーに「http://本製品のIPアドレス/」を入力します。



※上図は、IPアドレス(初期値: 192.168.1.1)の入力例です。

- 2 [Enter]キーを押します。
 - [パスワード]を求め画面が表示されます。

- 3 「admin」(初期値)を[パスワード]欄に入力してから、<ログイン>をクリックします。
 - 設定画面が表示されます。



設定画面の名称と機能について

本製品の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。



① 設定画面選択メニュー

各設定画面を用途別に、メニューとしてまとめています。メニュー名をクリックすると、各設定画面を表示できます。
※設定画面選択メニューが表示されていないときは、WWWブラウザの横幅を広げるか、[≡] (メニュー)アイコンをクリックすると表示されます。



② 設定画面表示エリア

設定画面選択メニューで選択されたタイトルに関連する画面を表示します。
※上図は、「設定」メニューをクリックしたときに表示される画面です。

③ 設定ボタン

設定値の読み込みと、書き込み*をするボタンです。
★設定反映には、書き込み後に再起動メニューから再起動操作が必要です。
※(パネルを浮かせる)は、設定画面から設定ボタンを分離するボタンです。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定する本体パスワードは、容易に推測されないものにしてください。数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)を組み合わせた長く複雑なものに変更されることをおすすめします。
※本体パスワードの変更については、本書で説明しています。

WWWブラウザについて

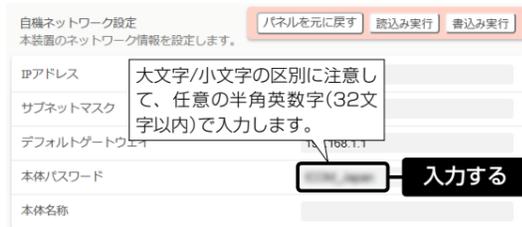
設定に使用する推奨WWWブラウザは、Microsoft Edgeです。
設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieは有効にしてください。
※Microsoft Edge以外のWWWブラウザをお使いの場合は、正しく表示できないことがあります。

本体パスワードの変更について

不正アクセス防止のため、必ず本体パスワードを変更してください。

- 1 「設定」メニューをクリックします。
 - 「設定」画面が表示されます。

- 2 [ネットワーク設定]項目の[自機ネットワーク設定]まで画面をスクロールして、[本体パスワード]欄に新しいパスワードを入力します。
※ボタンは、(パネルを浮かせる)をクリックしたとき表示です。



- 3 <書き込み実行>をクリックします。



※変更した設定内容は、再起動するまで有効になりません。
※入力に誤りがある場合は、下図のように表示されます。



- 4 「再起動」メニューをクリックして、<再起動>をクリックします。
※再起動後、[パスワード]を求め画面が表示されたときは、変更した新しい本体パスワードを入力します

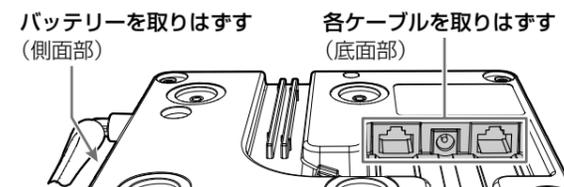
ご注意

パスワードを忘れた場合、設定画面を確認するには、初期値の状態に戻す必要があります。
※初期値に戻すときは、「本製品の設定を初期値に戻すには」にしたがって、本製品のキーを操作してください。

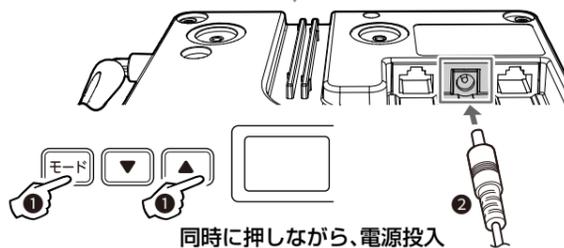
本製品の設定を初期値に戻すには

本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合など、設定画面にアクセスできないときは、下記の操作で、すべての設定内容を初期値に戻せます。
※初期値に戻したあとは、通話チャンネルやIPアドレスなどを、再設定してください。

- 1 本製品からすべての機器のケーブルを取りはずします。
 - すべてのランプが消灯していることを確認します。
 - ※バッテリーパックが装着されている場合、電源ケーブルをはずしても、電源ランプが黄色に点灯、または点滅します。「ご注意と保守について」(別紙)を参考に取りはずしてください。



- 2 【モード】と【▲】を同時(①)に押しながら、ACアダプターの電源プラグ(②)をDCジャックに差し込みます。



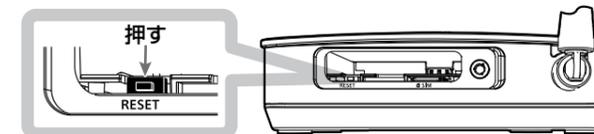
- 3 ランプ(電源(白)、送信(赤)、受信(緑))が同時に点灯したら、キーから手をはなします。
※表示部に何も表示されない状態(再起動完了)になったら、初期値に戻っています。



ランプが点灯後、キーから手をはなす

本製品の再起動について

電源の入れなおし、または設定画面にアクセスできない環境で再起動が必要な場合は、バッテリー挿入口にあるRESET(再起動)ボタンを押してください。
※PoEから受電している場合は、SA-5(別売品)、またはIEEE802.3at対応のHUB(市販品)に接続された電源を抜き差ししても再起動できます。



困ったときは

下記以外の現象は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書でご確認ください。

現象	原因	処置
電源ランプが点灯しない	ACアダプターが正しく接続されていない ACアダプターをパソコンなどの電源と連動したコンセントに接続している	ACアダプターをコンセントの奥まで差し込む ACアダプターを壁などのコンセントに直接接続する
受信ランプが点灯しない	特定小電力トランシーバーと通話(中継)チャンネルが異なる 特定小電力トランシーバーと本製品が中継通話距離よりはなれている	特定小電力トランシーバーと通話(中継)チャンネルを同じにする 受信ランプが点灯する距離で特定小電力トランシーバーを使用する
受信ランプは点灯するが、送信ランプが点灯しない	特定小電力トランシーバーとグループ番号が異なる	特定小電力トランシーバーとグループ番号を同じにする
設定画面にアクセスできない	ほかの中継機が、本製品と同じ通話(中継)チャンネルを使用しているか、または妨害電波が出ている バッテリーパック(電源ランプが黄色に点灯、または点滅)の動作に切り替わっている IPアドレスが自動取得に設定されたパソコンを接続している IPアドレスのネットワーク部が、本製品とパソコンで異なっている	ACアダプター、またはPoEから電源を供給する 本製品の出荷時や設定を初期値に戻したときは、パソコンを固定IPアドレス(例: 192.168.1.100)に変更する IPアドレスの「ネットワーク部」(例: 192.168.1)を変更したときは、設定に使用するパソコンの「ネットワーク部」も本製品と同じに変更する
LTE回線や有線LANで、通話の中継されない	他社製、またはレピータIP連携に対応していない弊社製の特定小電力トランシーバーを使用している [レピータIP連携]の設定が「oF」(初期値)になっている	レピータIP連携対応の特定小電力トランシーバーを使用する 2022年2月現在、IC-4400、またはIC-4400Lが対応しています。 設定を「on」に変更する(IC-4400、またはIC-4400L側の設定)

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の情報は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7587W-2J-1 Printed in Japan © 2020-2022 Icom Inc.